



# みんなのがっこうの どうぶつ

2014 年月 11 月中旬  
第 8 号

発行責任者：公益社団法人 栃木県獣医師会 南支部 学校飼育動物委員 すずき しげゆき  
☎0285(41)0323 fax0285(41)0322  
電子メール [suzuki@brace-ah.jp](mailto:suzuki@brace-ah.jp)



## この号の内容

- 1 新しい“ねらい”の「ふれあい教室」
- 2 根拠に基づく動物飼育セカンドイントロダクション
- 3 飼育舎を工夫する冬支度

★子供たちを取り巻く社会環境の変化から、「命」や「死」などの出来事を、実際の重大さよりも軽く感じる傾向がある。

★本能的な行動や原始的な感情の中から「労り」や「共感」の行動や感情を上手に拾い上げ、強化する必要があります。

老いることも、子供たちには教えるに繋がります。下図 - 老ウサギ



## 1. 新しい“ねらい”の「ふれあい教室」

獣医師会が市町の教育委員会から委託され、実施している「ふれあい教室」は、現在のところ、主には「生活科」の授業の一部として開催され、高く評価されています。

さらに、動物との触れ合いや飼育経験が持つ意義から、近年では「道徳教育」への活用が叫ばれ始めています。



今年の 10 月。県南の小学校で“道徳教育の一環”として、「ふれあい教室」が開催されました。新しい“ねらい”の「ふれあい教室」のスタートです。

## 2. 根拠に基づく動物飼育

### セカンドイントロダクション

子供達を取り巻く社会環境の変化から、子供たちは「見たことないけど知っている事」が多く、「命」や「死」などの実体の無い観念的な出来事に対して、好奇心の方が勝り、実際の出来事の重大さよりも軽く感じている傾向が見受けられるようです。[みんなのがっこうのどうぶつ 第3号 第4号](#)

人間の脳は、生まれながらに持っている本能の部分、原始的な感情の部分、高度な感情の部分で構成されています。高度な感情は経験を通して培われる感情で、本能の部分と原始的な感情の部分をどのようにして連携・強化していくかにより培われ方が大きく変わります。[みんなのがっこうのどうぶつ 第5号 第6号](#)

知識があり学力が高いことと、命を大切にする気持ちや思いやりの気持ちの強さが必ずしも比例しないことは、先生方の経験や昨今起こってしまった殺人事件を振り返ってみてもうかがえる事でしょう。高度な感情による“本能的な行動や原始的な感情”の制御の仕方を上手に経験しないと、“本能的な行動や原始的な感情”に従ったときに喜びを感じてしまうようになるという説も耳にします。[人の災難を喜びいじめっ子の脳](#)



命を大切にする気持ちや思いやりの気持ちを培うには、本能的な行動と原始的な感情の中にもある「労り」や「共感」の行動や感情を高度な感情で上手に拾い上げ、強化する必要があります。前回までの総論から、今回は各論に突入です。

### 3. 飼育舎を工夫する 冬支度 1

★鳥類の冬支度では、野鳥の侵入を阻止する対策を取る。

★北風対策に農業用の透明ビニールシートを設置する。

★床の対策は、稲わらを敷いてあげたり、段ボール箱で巣箱を設置すると良い。



段ボール箱を利用した、烏骨鶏の巣箱

小学校での動物飼育での“困った”は、遠慮なくご相談ください。

例えば、ウサギさんが増えて困っているとき、オスヒメスの別飼いたいので、**雌雄鑑別を獣医師へ依頼したい。**

例えば、飼育している動物の飼育方法を**飼育委員会**で話してほしい。

ご連絡は・・・  
お近くの獣医師会獣医師、または、獣医師会事務局、ニュースレター発行責任者  
[suzuki@brace-ah.jp](mailto:suzuki@brace-ah.jp)

#### 鳥類(ニワトリ、チャボ、インコなど)



鳥類の冬支度では、「高病原性鳥インフルエンザ」の伝播経路になりうる「野鳥との接触」を回避することに十分な対策を取ることが大切です。しっかりと対策を取っている事が、子供たちの安心にもつながります。

●野鳥の侵入を阻止する⇒飼育舎の周囲に金網をめぐる。詳しくは**高病原性鳥インフルエンザ資料特集号「3. 具体的な対策 B-2. 野鳥との接触、飼育舎への侵入を防ぐ」**を参照ください。

ヒント💡 農業用の透明ビニールシートを利用する。農業用の透明ビニールシートをフェンスの上端から 1m 程下げて(換気用)フェンス周りに設置する。また、軒先の先端からカーテンのように吊り下げする方法もあります。

高病原性鳥インフルエンザに限らず、野鳥との接触は鳥類の病気の感染経路になります。渡り鳥がやってくる前に、その対策を始めましょう。

#### ウサギ・鳥類共通



ウサギ・鳥類に共通の冬支度では、寒さ対策が必要です。「野生に近いから寒さに強い」という事はありません。

●北風対策⇒寒い北風の侵入を防ぐため、農業用のビニールシートを飼育舎の周りに設置します。ウサギの場合には、床から 1m50cm位の高さまで設置します。ニワトリやチャボなどの地面で生活している鳥類の場合には、天井から 1m 位を換気用に開けて、地面まで設置します。セキセイインコなどの飼育舎の上の部分で生活している鳥類の場合には、地面から 1m 位は換気用に開けて、天井まで設置すると良いでしょう。

●床の対策⇒土間でもコンクリートでも床は体温を奪うものです。稲わらを敷いてあげると良い緩衝剤になってくれます。

ヒント💡 稲わらがいない場合、段ボール箱で「巣箱」を作ってあげるのも良いでしょう。壊れたり汚れたら、新しいものを作ってあげるのにも段ボールは便利です。また、工作は子供たちが楽しみながら、アイデアを出してくれるでしょう。



公益社団法人 栃木県獣医師会  
Tochigi Veterinary Medical Association

公益社団法人 栃木県獣医師会  
学校飼育動物委員会

〒320-0032  
栃木県宇都宮市昭和1-1-23

☎0286(22)7793 Fax0286(21)9660  
[http://www.tochigi-vet.or.jp/activity/chairman\\_02.html](http://www.tochigi-vet.or.jp/activity/chairman_02.html)